

農産経営 I

講師名	永富 巨人	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、農産分野の経営者としての管理及び経営手法の基本的考え方についての能力を養うための講義を担当する。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	2	前期	15	1
使用教科書・副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関のための農業ビジネスの基本と取引のポイント第2版 (有限責任監査法人トーマツ) ・自作プリント 					
授業の目的	農産分野の経営者としての管理及び経営手法の基本的考え方についての能力を養う。					
授業の到達目標	水田農業経営の現状および取り巻く環境を把握し、水田農業施策について理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
5月20日	農業ビジネス業界の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・農業所得について理解する。 ・農業を取り巻く環境について理解する。 	2	講義	
7月7日	水田農業の現状	水田農業経営の現状について理解する。	2	講義	小テスト
7月14日	農業の基礎知識①	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構について理解する。 ・農業委員会や認定農業者について理解する。 	2	講義	
8月19日	農業の基礎知識②	農産物の関税について理解する。	2	講義	
8月23日	米の生産及び流通①	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産量と産出額の推移について理解する。 ・米の生産構造について理解する。 	2	講義	
8月26日	米の生産及び流通②	日本型直接支払制度について理解する。	2	講義	小テスト
8月30日	米の生産及び流通③	<ul style="list-style-type: none"> ・米の流通制度の変遷について理解する。 ・米の流通構造について理解する。 	2	講義	
9月8日	農業ビジネスに関わる組織	JA、関連メーカーについて理解する。	2	講義	小テスト
合計			16	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

レポート60%、平常点40%(出席状況、学習態度、小テスト)

履修に当たっての留意点等

レポートの他、提出物を求める場合がある。
受講に際しては、事前に教科書や配布する参考資料などに目を通しておくこと。